



土崎みなと歴史伝承館

# 伝承館だより

第6号



秋田港ライオンズクラブ（佐藤嘉樹会長）から伝承館に枯山水の庭が寄贈され、このたび、落ち着いた雰囲気のある庭園ができあがりました。



穂積市長に目録を手渡す  
佐藤会長（写真右）

置かれている石（写真中央）は福井県の足羽山あすわやまでしか採れない笏谷石しやくだにいしが使われております。笏谷石は、土崎にある金刀比羅神社の狛犬や社殿前の参道、虚空蔵尊堂の階段（上段）などにも用いられており、北前船によって運ばれてきたとされ、雨などに濡れるとより深い緑色となる神秘的な石です。

1月14日に佐藤会長から穂積市長へ目録が手渡され、工事は3月中に施行されました。

伝承館にお越しの際は、国道側入り口脇にある庭園を是非ご覧いただき、北前船の歴史に思いをめぐらせてみてください。



## 郷土芸能を今、伝えたい



土崎港伝統芸能  
伝承会  
会長 門間 厚子

土崎みなと歴史伝承館で踊り披露の機会をいただき、そして観客からは「こんな踊りがあったの初めて知った」「今後も続けてほしい」と好評をいただき、ありがとうございました。

古くから北前船の寄港地として重要な役割を果たしていた“土崎湊”は、仙北平鹿、湯沢雄勝地方を結ぶ雄物川の玄関口でした。その雄物川を上り下りする船や北前船が米などの荷物の他に唄や踊りなどを北から南からと運んで土崎を「文化」の港町へと築いていったことは周知のとおりであります。

しかし、戦後、復興の陰で多くの唄、踊りなどの文化的な遺産が途絶えそうになりましたが、先人の方々が資料収集にあたってくださり、また私たちも意欲的に芸者さんのご自宅などを訪ね歩き教を請い、ようやく一定のレベルにまで達することができ、昭和55年より土崎港に数々ある伝統芸能を復活継承してまいりました。

当時、初代会長には竹内孝二郎氏、名誉顧問には土崎出身の劇作家、金子洋文先生、藤田溪山先生、小幡谷政吉先生（元県議）をお迎えして、土崎映画館、秋田市文化会館などで発表会を開催させていただきました。

土崎に伝承されている民謡で昭和6年に発表された「みなと小唄」の作詞は西城八十、作曲は中山晋平、昭和初めの「港音頭」の作詞は小川狐舟、「秋田港の唄」は金子洋文作詞作曲、唄っていたのは藤田溪山先生、「ハタハタ音頭」は金子洋文作詞、小松平五郎作曲、踊りは石井猷先生、歌い手は東海林太郎氏。当時は豪華メンバーだったそうです。

現在、当会が目標としていることは、伝統芸能を通じて地域の人々との一体感を創って行くこと、土崎の伝統芸能がより身近な“庶民の文化”として昇華していくことであり、会員一同日々伝統芸能の向上に励んでおります。

最近はコロナ禍で、披露する機会が減っておりますが、アフターコロナの折には機会も増えるだろうと期待を寄せております。一日も早くコロナが終息することを願っております。

土崎港伝統芸能伝承会 第5代会長 門間 厚子

## 伝承館 令和3年度下半期レポート

一時は下火となったコロナ感染ですが、年明けから第6波が猛威を振るい、秋田市内でも特に子供を中心に感染が拡大し、相当のダメージを受けてしまいました。まだまだ終息の見通しが立たない状況が続いております。そのような状況の中、参加人数を限定するなどの3密対策を講じながら行われました下半期の催し物などを紹介いたします。

### ◆開館4周年記念イベント開催

昨今のコロナ禍の中、少しでも賑わいを取り戻すため、4周年記念イベントを開催しました。午前には土崎神明社奉賛会小林会長による講演、午後は多彩なゲストによるバラエティショーを開催。特にキャミソウルブラザーズとねじのみなさんによるトークショーには爆笑の渦が巻き起こりました。フィナーレは秋田音頭を披露。たくさんの拍手をいただきました。写真上は講演会の様子、下はバラエティショー出演者のみなさん。（3月20日）



## ◆子どもまつりの開催

子供たちにお祭りの気分を楽しんでいただきたい一心で開催。当日は悪天候にも関わらず、たくさんの子供たちに参加していただき、大いに賑わいました。当日使用した曳山人形の一部は3月まで伝承館に展示しました。  
(10月16日)



## ◆土崎空襲“関連遺跡・被爆地”学習バスツアーと土崎空襲展

日本最後の空襲「土崎空襲」を語り継ぐ爆撃被災地をめぐるバスツアーを実施。当時の惨劇を振り返りました。(10月23・24日)

12月には土崎空襲展と5日に「なぜ土崎が日本最後の空襲だったのかを考える」シンポジウムを開催。多くの市民に空襲の惨劇を伝えました。(12月1日～26日)



## ◆土崎秋銀会より公德傘の寄贈

毎年寄贈をいただいております公德傘を、今年も頂戴いたしました。ありがとうございました。

写真は、左から秋銀土崎支店の進藤支店長、秋銀会の木村会長。  
(10月11日)



## ◆未来のまつり絵画コンテスト

未就学児（5・6歳）を対象としたコンテストを実施。111作品の応募があり、全作品を展示。（10月16日～10月31日）

その中から投票により選ばれた12作品で令和4年のカレンダーを作成し、来館者に配布しました。（写真右）



## ◆北前船と土崎展

土崎港の繁栄に大きく関与した北前船。その船絵馬などの資料や当時の商業広告などを展示し、土崎港の繁栄ぶりを振り返りました。（1月6日～2月27日）



## ◆羽州街道歴史まつり

秋田市主催で、落語と民謡・舞踊にたくさんの方の来観者で大いに賑わいました。（10月3日）



## ◆湊凧の展示

今年も湊凧を展示しました。湊凧は土崎のお祭りより古い歴史があると言われております。（1月5日～2月27日）



昨秋、伝承館入り口に花壇を作りました。



## 伝承館からのお知らせ

### 1 昔なつかしい写真大募集

伝承館では、土崎港に関連した文化・風景など昭和以前に撮影された懐かしい写真を募集しております。

※ジャンル、大きさは問いませんが、複製・展示されることを承諾していただける写真。当館で複製後お返しいたします。

### 2 催し物のご案内

#### ①毎月第1日曜日午前11時より“唄でつづる土崎みなと”

土崎在住民謡歌手藤原美幸さんとゲストのみなさんによる民謡披露

#### ②毎月第2・4日曜日午前11時より“港ばやしと踊りの実演”

お囃子は港ばやし保存会、踊りは土崎港伝統芸能伝承会又は港伝承絆会

詳しくは、下記までお問い合わせください。

令和4年4月発行 秋田市土崎みなと歴史伝承館 指定管理者：土崎みなと街づくり協議会  
〒011-0945 秋田市土崎港西三丁目10-27 TEL 018-838-4244 HP：<https://tuchizaki.com/>

【あとがき】桜前線は毎年やってくるが「あっ」という間に通り過ぎてしまう。コロナ禍は突然やって来てなかなか通り過ぎてくれない。今年はさらにロシアによるウクライナ侵襲、北朝鮮によるミサイル開発などなど世界は悪い方向に向かっているような気がする。一日も早く普通に安全・平和な世の中になってほしい。（責：み）